



## 副園長日記

R3.7.16

先日、降園後の事務室で仕事をしていたときのことで。何人かの先生たちで、子どもたちのことや、自分の家庭でのことなどいろいろ話していたとき、お預かりだったMちゃんが事務室をのぞいて、「先生たちの笑ってる声が聞こえてきたよ。先生たち、さようなら。」とすてきな笑顔であいさつをしてくれました。あらためて、笑顔って大切だと感じました。もし、私たちが眉間にしわを寄せて、互いにピリピリとしていたら、Mちゃんがこんなすてきなあいさつをしてくれることはなかったと思います。周りのみんなを幸せにできるそんなすてきな笑顔の大切さに気づいた出来事でした。



「かに」「らっこ」「こいのぼり」「わに」これは一体何でしょう。動物園ではありません。おもちゃ屋さんでもありません。プールでの水遊びの時に、先生たちがよく使う言葉です。「かに」とは、プールの壁に沿って歩くこと。

「らっこ」とは、背泳ぎのようにお腹を上にして浮かぶこと。「こいのぼり」とは、手足を伸ばして伏し浮きをすること。「わに」とは浅いところで、四つん這いになり、手足をつかって進むこと。「けのび」「クロール」「ストリームライン」などの水泳用語は子どもたちには難しすぎます。しかし、「こいのぼり」「らっこ」などというように身近なものに例えていくことで、水の中での体の使い方や脱力の仕方を楽しく伝えているのです。子どもたちは、ごっこ遊びが大好きなので、みんないろいろな動物になりきって、喜んで水の中に入っていきます。表現の仕方を工夫することで、水への抵抗感を減らし、子どもたちがいろいろなことに挑戦できるような支援をしています。

幼稚園の先生たちの話す言葉をよく聞いていると、なるほどと思うことがたくさんあります。まだまだ知っている言葉が少ない子どもたちに、どうしたら伝わるのか、また、子ども同士でもどうしたら思いを伝え合えるのか、その時その時にあった表現の仕方を模索しながら保育をしています。

子どもたちの素直な感性から発せられる表現を大切にしながら、少しずつ



違った世界に広げていこうとしています。

6・7月の誕生会では、ブラックライトを使って、パネルシアター「七夕」や、「お化けなんてないさ」の歌とダンスをやりました。

何日も前から、汗だくになりながら練習していた先生たちです。

